

令和7年度青森市在宅医療・介護連携多職種研修会開催概要

- 1 目 的：医療・介護の現場における認知症対応力の向上及び医療と介護の両方を必要とする高齢者等のよりよい在宅ケアのため、医療・介護連携の強化と相互理解を図る。
- 2 日 時：令和7年11月15日（土） 13：30～16：00
- 3 会 場：アピオあおもり イベントホール （青森市中央3丁目17-1）
- 4 対象者：東青圏域（青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村）の医療従事者（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリ専門職、管理栄養士など）及び介護従事者（介護サービス事業所職員、介護支援専門員、地域包括支援センター職員など） 約200名
- 5 参加費：無料
- 6 主 催：青森市
- 7 プログラム

時 間	内 容
13：30～13：35（5分）	開会挨拶 青森市医師会 会長 北畠 滋郎 氏
13：35～14：40（65分）	研修会第1部 講演 ＜テーマ＞「認知症の人の思いを実現する意思決定支援の実践」 日常の場面で、医療の場面で、認知症の人の思いを実現するにはどのような支援が必要でしょうか。本講演では「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン（第2版）」のポイントを踏まえ、実践に役立つ支援のあり方を紹介します。 ＜講師＞ 東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 医師 津田 修治 氏
14：40～14：50（10分）	移動及び休憩
14：50～15：20（30分）	研修会第2部 事例検討（グループワーク） ＜事例（予定）＞ ・日常生活（入浴、買い物、受診など）での意思決定支援 ・医療機関から自宅へ退院する場面での意思決定支援
15：20～15：30（10分）	移動及び休憩
15：30～15：50（20分）	発表
15：50～16：00（10分）	講師による講評
16：00	閉会